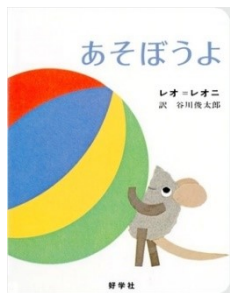




今年はちゅうちゅう、ねずみ年！

あけましておめでとうございます。今年もちいさな絵本館をよろしく申し上げます。さて、2020年最初の絵本館だよりは、ねずみの特集でお送りします。

★な ん て つ た っ て 子 ど も た ち は・・・★



『あそぼうよ』レオ・レオニ：作 谷川俊太郎：訳 好学社

子どもたちの日常生活の基本は遊び！なんでも遊びに変身させることができるし、どんなものでも遊びの道具に変わってしまう。この作品はボードブックなので、幼い子の手にも優しい一冊です。レオ・レオニはねずみの作品が多い作家ですよ。少し大きな子ども達には『フレデリック』もおすすめです。

★こ ど も た ち は な か よ し ね ？★



『ないしょのおともだち』ビバリー・ドノフリオ：作 バーバラ・マクリントック：絵 福本友美子：訳 ほるぷ出版

子どもたちは小さなものを発見するのがお得意。赤ちゃんが小さなごみを小さな指でつまみ上げることはよくあること。ですから、家の中でも小さなお友達と出会うのは当然の出来事かも。この作品は二世代にわたる女の子とねずみの友情物語です。

★の ん び り 屋 の 果 た し た 功 績 ？★

『ねずみのおいしゃさま』中川正文：文 山脇百合子：絵 福音館書店

ねずみのお医者様はリスさんのところへ往診に出かけます。寒い雪の降る夜、寒くて雪まみれになって、途中でちょっと休憩、そのまま寝入ってしまいます。朝になって、慌ててリスさんのところへ行くと、リスさんはすっかり良くなっていました。のんびり屋のお医者様のおかげで生まれた自然治癒力ですね！

★中 国 の こ と わ ざ を 絵 本 に す る と★



『七ひきのねずみ』エド・ヤング：作 藤本朝巳：訳 古今社

七匹のねずみは見知らぬ生き物に出会い、びっくり仰天！一匹ずつその生き物が何なのか調べに行くのですが、みんな答えはばらばら。さて、見知らぬ生き物とは？